



坂井小学校だより

令和 2年 3月17日

No. 16 (最終号)

校長 久保田雅樹

◆坂井小学校最後の卒業式、そして閉校式

3月10日(火)7人の卒業生の皆さんと保護者の皆様、村関係者と学校職員の出席により、坂井小学校としては最後の卒業証書授与式と閉校式が行われました。



学校長式辞 (一部) ※式辞や祝辞はメッセージ集にして贈りました
ご卒業おめでとうございます。

先日配られたPTA会報には、皆さんが書いたメッセージや将来の夢が載っていました。どれもみんな個性的でいいなあと思いました。「みんな違う色を持っていて、それが一つにまとまって美しい七色の虹を作っている。」そんなイメージがぴったりの皆さんです。

卒業しても、その「自分の色」を大切に、ますます美しい色に輝かせる努力をしてほしいと願っています。中学校や高校へ行くと、より多くの仲間と出会い、ともに過ごすこととなります。そんなとき、「自分って変かな?」「もっと周りの人にあわせて方がいいかな?」などと思って、自分の色を消そうとしたり、周囲の色に染まろうとしてしまったりすると、毎日が楽しくないものになってしまいます。人と比べることはありません。自分は自分です。逆に言うと、これから出会う人が自分とは全く違う色を持っていても、「変な人」なんて思って遠ざけてしまわないで、今の皆さんのように、挨拶を交わしたり話をしたり力を合わせたりすることが、毎日をより楽しいものにすると思います。

「和して同ぜず(和而不同)」という言葉があります。「他の人と協調していくが、決しておやみに同調しない。」という意味です。まさにこの姿勢をもって、自分の夢を追い求め、未来をたくましく切り拓いていってください。そして、いつまでも坂井小学校最後の卒業生であることを誇りに思える皆さんであってください。

卒業生に伝えたい気持ちを言葉にした在校生の呼びかけや歌はできませんでしたが、呼びかけの内容は印刷して、卒業生に読んでもらうようにしました。6年生が歌う「旅立ちの日に」は、収録してあった本人たちが歌う映像を流しました。気持ちが伝わるすばらしい歌声でした。

坂井小学校最後の1年を、全校の子どもたちの先頭に立って盛り上げてくれた6年生の門出を、限られた条件の中ではありませんでしたが、在校生の分まで心を込めてお祝いしました。こんなめったにない卒業式と閉校式を体験した卒業生の皆さんですが、いつかそれも小学校の思い出のひとつになってくれればと願っています。

卒業式に引き続き、閉校式が行われました。7名の卒業生と保護者の皆様、学校職員が見守る中、関川村長が「令和2年3月31日をもって、閉校することを宣言する。」と、閉校宣言を行い、校長より宮下教育長に校旗を返納しました。



◆転退職員の紹介

年度末の人事異動で、今まで大変お世話になった先生方とお別れをしなければならなくなりました。この坂井小学校での経験を活かし、新たな地での活躍を心より祈念しております。本当にありがとうございました。

なお、現坂井小学校職員は、来年度からは新筑北小学校の職員になります。

